

はじめに

平成26年度は、1. 地域福祉の推進 2. 質の高い福祉サービスの提供 を事業方針として、以下の4つの重点目標に基づき、諸事業に取り組んだ。

1. 第4次地域福祉推進計画の平成26年度年次計画の実施により

- ①例えば、災害時の要援護者の避難支援についての協議を通して、自治会エリアでの見守り、支えあいの仕組みづくり
- ②仕組みづくりのための具体的な方策をプロジェクトチームで検討するなど、地域での見守り・支えあい活動を支援できる社会福祉協議会の組織づくり に取り組みます。

自治会単位での見守り、支えあいの仕組みづくりにはいたらなかったが、仕組みづくりを行う上で大切な気づきや課題を抽出し、解決のための話し合いを支援するツールに「支え合いマップ」づくりを活用することに決め、自治会や民生委員・児童委員協議会などに働きかけをはじめた。この取り組みについては職員有志によるプロジェクトチームが主導的な役割を担ったが、「支え合いマップ」づくりについては、役職員が参画し、理解するように努めている。

2. ボランティア活動および福祉教育を推進するとともに、災害に備え、災害時に活動するボランティアの養成など、ボランティアセンターの対応力を高める取り組みを行います。

ボランティア養成講座の開催による新たなボランティアの開拓や既存のグループへの相談や活動資機材の充実等の支援をし、ボランティア活動の充実に取り組んだ。災害に備えては、コーディネート力を高めるために、職員を研修に出すとともに、町が実施した避難所運営訓練などへ参画した。このような取り組みを通して、福祉避難所で活動する生活相談員の養成を早急に行う必要性を感じた。

3. 認知症の理解や介護技術といった内部研修を実施し、職員一人ひとりがスキルアップをはかり、地域の中でその人らしい暮らしを支えられる質の高い福祉サービス提供に努めます。

日常的なミーティング、部署単位での研修により、職員一人ひとりのスキルアップに努めた。また、マップづくりセミナーをはじめ全体研修を通して、地域の中で暮らすという大きな視点から、個々が提供するサービスの意味・役割を考え、よりよいサービスを考え、いく取り組みを始めた。

4. 3施設の指定管理者として、効率的な運営を行うとともに、講座をはじめとする自主事業も実施し、住民の福祉の向上に寄与できるよう取り組みます。

福祉会館および福祉しあわせセンターについては、設備等に経年劣化が見られることから、計画的な改修計画をたて、行政に提案していくための準備に入った。また、福祉会館においては、書道等の定期開催する講座のほかにも、石鹸づくりといった単発的な講座も開催し、1人でも多くの方に会館を利用いただくための取り組みを行った。

〔Ⅰ〕 在宅福祉活動

在宅高齢者地域生活支援サービス		高齢者給食サービス												★は委託事業	
①事業名	高齢者給食サービス												事業開始		S55.7
事業目的	地域在宅高齢者の栄養と健康面の改善を図るとともに地域との交流を深め、在宅高齢者の福祉の推進を図る														
事業内容	毎週木曜日の夕食の配食(8月以外)。利用者負担200円①町内に子どもが居住しない70歳以上の一人暮らし高齢者 ②夫婦いずれかが身障手帳3級以上を所持している高齢者夫婦世帯 ③高齢者夫婦世帯(夫婦合計160歳以上) ④その他														
利用世帯	①ひとりぐらし高齢者			②身障者世帯			③高齢者夫婦世帯			④その他			合 計		
	本年度	89人	5世帯 10人	16世帯32人	17人	148人	前年度	97人	5世帯 10人	22世帯 44人	19人	170人			
事業実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	
	4	5	4	5		4	5	4	3	4	4	4	46	45	
	587	471	477	482		441	565	467	340	445	454	457	5,186	5,824	
	調理ボランティア	83	64	63		60	80	61	50	63	64	70	744	759	
配食ボランティア	16	19	16	16		16	20	16	12	15	16	177	175		
総 括	前年度より、利用者数が年間延べ640名(1回平均13名)の減となった。しかしながら、個別配送が多くなってきていることから配達に時間を要している。この事業の目的である「ふれあいを通しての見守り活動」とするためには、配送の工夫が必要となっている。														
②事業名	★ 寝具乾燥消毒サービスの受託												事業開始		H13.7
事業目的	在宅の高齢者及び障害者に対して、寝具類等の乾燥消毒を行うことにより、住みなれた地域社会の中で引き続き生活していくことを支援し、もって保健福祉の向上を図る。														
事業内容	居宅に寝具乾燥車を派遣し、対象者の使用する寝具類等を乾燥消毒する。①65歳以上の単身世帯②65歳以上のみの世帯③身体障害者手帳1,2級か療育手帳所持者の単身世帯④重度心身障害者のみの世帯⑤重度心身障害者と65歳以上の世帯⑥その他 原則1回/月、3枚/回。利用料300円/回														
事業実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	
	4	4	4	4	4	4	4	6	6	6	7	7	60	50	
総 括	長年、利用登録者が4名程度であったが、少しずつ登録者が増え、実施回数も増えることとなった。新規登録者においては、社協だより等の当会の広報物を見ての申請が多く、広報活動の重要性を感じた。														
③事業名	介護機器の貸出事業												事業開始		H25.4
事業目的	在宅で介護を受けている高齢者のために介護用品の貸出しを行い、介護の便宜を図り、福祉の増進に寄与する。														
事業内容	町内在住のおおむね65歳以上の高齢者を対象に、車椅子・ポータブルトイレ等の介護用品の無料貸出を行う。														
事業実績	車椅子			ポータブルトイレ											
	保有数	20	5												
	貸出件数	75	7												
前年度貸出件数	115	25													
総 括	介護保険制度等他制度での利用までをなるべくという目的のもと貸出を行っており、一定のニーズがあり、継続して実施していきたい。														

在宅障害者地域生活支援サービス

④事業名		移送事業												事業開始		H19.4	
事業目的	町内に在住する身体の不自由な高齢者および障害者等で、家庭で移送手段を確保するのが困難である方に、医療・保健・福祉・福祉の利用の便を図り、在宅福祉の向上に寄与する。																
事業内容	車椅子を使用するおおよね65歳以上の高齢者および身体障害者(児)で、心身の状態により他の交通機関の利用が困難で、家庭等で移送手段の確保が困難な方を対象に、リフト付車輻で病院への通院や入院・福祉施設への入退所等への送迎を行なう。																
事業実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度			
	40	40	33	33	23	42	32	24	24	27	27	26	371	464			
	22	17	17	19	15	20	16	16	13	16	18	18	207	229			
総括	介護タクシーほか送迎事業の環境が充実する中、前年度と比較して登録者数および述べ利用者数は若干減少した。同じような時間に利用を希望があることから、これ以上の利用者を増やしていくためには、運転手の体制を整えていく必要がある。																
⑤事業名	★ 要約筆記者派遣事業の受託																
事業目的	中途失聴者及び難聴者が社会生活上必要不可欠な場合に出席する場場合に要約筆記者を派遣することにより、意思伝達の手段を確保し、もって難聴者等の福祉の増進に資する。																
事業内容	登録している難聴者等が公的機関、学校や医療機関等での複雑な会話を必要とする場合や、社会生活上コミュニケーションを図ることが必要な場合に所定の技術を有した登録筆記者を派遣。対象者＝町内に居住する18歳以上の身体障害者手帳所持者で、要約筆記を必要とする者。																
事業実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度			
	2	2	0	1	0	1	1	1	2	1	1	0	12	20			
総括	昨年度、主に利用されていた方のお一人が体調を崩し、外出の機会が減ったことに伴い、前年度より派遣回数が大きく減少した。利用者の高齢化に伴い、通院等に利用されるケースが増加する可能性もあり、その反面、上記のように利用が減っていくことも予測される。																
⑥事業名	★ 手話通訳者派遣事業の受託																
事業目的	聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者等の家庭生活並びに社会生活における情報収集やコミュニケーションを円滑に行い、聴覚障害者等の自立と社会参加の促進を図る。																
事業内容	派遣内容＝公的機関への各種申請や、届出・相談時や、社会生活上コミュニケーションを図ることが必要な場合、そして権利や義務に関わる重要な用件等の場合に派遣する。 対象者＝町内に居住または、勤務する18歳以上の身体障害者手帳の交付を受けた聴覚障害者等。																
事業実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度			
	2	1	1	1	1	4	2	2	2	0	3	0	19	22			
総括	定期通院時に利用されるケースが目立った。県の通訳センターからの派遣は2件あったが、情報保障に関しては特に問題なく対応ができた。また、バス旅行時等、長時間にわたる利用もあり、当事業が社会参加支援の一端を担っている現状が伺えた。																
⑦事業名	★ 声の広報事業の受託																
事業目的	視覚障害者に対し、広報録音テープを配布することにより、より多くの情報を得ることができ、もって視覚障害者の社会参加の促進に資する。																
事業内容	朗読ボランティア「のぎく」により、毎月発行される町広報、社協だより、議会だよりなどの内容をテープに録音し、視覚障害者用テープ郵送袋により郵送し、情報を提供する。																

事業実績	利用者数	本年度 11世帯13名	前年度 10世帯12名	実施回数	本年度 12回	前年度 12回	(月1回)										
総括	年度初め、1名の利用者が利用終了を申し出てこれ、年度途中に2名の新規申し込みがあり、1名増加するからたちとなった。録音作業において、機材のトラブル等にも見舞われたが、ボランティアグループの協力を得て毎月発行することができた。																
⑧事業名	★ 手話奉仕員養成事業の受託																
事業目的	手話奉仕員の登録者を増員し、聴覚障害者の利便性を図り、社会参加を促進する。																
事業内容	兵庫県聴覚障害者協会、播磨町聴覚障害者部会たいよう、手話サークルはりまから講師派遣を要請し、20回の初級講座を開催する。																
事業実績	回数	本年度 30回	前年度 20回	受講者	本年度 8名	前年度 10名	講師： 稲美町ろうあ協会 手話サークルはりま										
総括	受講者全員が熱心で積極的に取り組まれ、スムーズに授業が進んだ。講座の雰囲気も良く、受講者同士が楽しく和やかに取り組むことができた。																
⑨事業名	★ 生活訓練事業の受託																
事業目的	障害児の長期休業中における自立支援として、日常生活や社会生活上必要な訓練、指導及びレクリエーション活動を通じての交流を目的とする。																
事業内容	夏休みの長期休業中の小学校の特別支援学級生や特別支援学校生に対し、個人の能力に応じた買物や調理・清掃など日常生活訓練やレクリエーション活動などを通じて、他の学校の友達とふれあい、交流を持つ。																
事業実績	利用者数	1年生 0	2年生 4	3年生 4	4年生 5	5年生 3	6年生 3	計 19	スタッフ 27	実施日数 13日							
総括	前年度 4										2	3	4	5	23	28	13日
総括	スタッフの経験や特技を活かしプログラムに盛り込むことで、各々が主体的に事業に臨むことができた。身の回りの片づけや食事前後の掃除など、実施はできたが、おろそかになってしまっているところもあった。今年度、いきいきセンターに拠点をおいたことで、広々とした空間でのびのびと過ごすことができたが、安定的な体制づくりについての課題は依然として残ったままとなった。																
その他生活支援活動																	
⑩事業名	福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）																
事業目的	判断能力に不安がある高齢者・知的障害者・精神障害者等の方に対し、福祉サービスの利用に関する相談・助言、並びに福祉サービスの提供を受けるために必要な手続き、または福祉サービスの利用に要する費用の支払い等の援助を行い、在宅生活を支援する。																
事業内容	基幹型社協の専門員が策定する支援計画に基づき、生活支援員が訪問し、①福祉サービスの利用援助・情報提供・助言・申込手続きの代行・苦情解決制度の利用援助 ②日常的な金銭管理・福祉サービスの利用料の支払い等・通帳、印鑑等の預かりを行う。																
事業実績	利用者数																
	本年度	8名															
	前年度	8名															
	・預金通帳及び印鑑の預かり ・日常生活費のお届け ・サービス利用料等の支払い ・文書の確認																
	・預金通帳及び印鑑の預かり ・日常生活費のお届け ・サービス利用料等の支払い ・文書の確認																
総括	前年度に契約解除となった方が2名おり、本年度も2名の方と新規契約を行った。また、契約締結に向けて準備を進めているケースも多く、今後契約数が増えることが見込まれる。このため、生活支援員を3名増やし、支援体制を整えた。																

その他生活支援活動

⑩事業名	福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）							事業開始	H12.4
事業目的	判断能力に不安がある高齢者・知的障害者・精神障害者等の方に対し、福祉サービスの利用に関する相談・助言、並びに福祉サービスの提供を受けるために必要な手続き、または福祉サービスの利用に要する費用の支払い等の援助を行い、在宅生活を支援する。								
事業内容	基幹型社協の専門員が策定する支援計画に基づき、生活支援員が訪問し、①福祉サービスの利用援助・情報提供・助言・申込手続きの代行・苦情解決制度の利用援助 ②日常的な金銭管理・福祉サービスの利用料の支払い等・通帳、印鑑等の預かりを行う。								
事業実績	利用者数								
	本年度	8名							
	前年度	8名							
	・預金通帳及び印鑑の預かり ・日常生活費のお届け ・サービス利用料等の支払い ・文書の確認								
	・預金通帳及び印鑑の預かり ・日常生活費のお届け ・サービス利用料等の支払い ・文書の確認								
総括	前年度に契約解除となった方が2名おり、本年度も2名の方と新規契約を行った。また、契約締結に向けて準備を進めているケースも多く、今後契約数が増えることが見込まれる。このため、生活支援員を3名増やし、支援体制を整えた。								

⑪事業名	★権利擁護支援事業の受託		事業開始	H25.4			
事業目的	高齢者・障害者等への虐待及びその他の権利侵害の防止策や権利を守るための支援策など権利擁護に関する課題等について検討し、権利擁護の意識に満たなまちづくりを推進する。						
事業内容	虐待防止や成年後見制度の利用促進などの啓発活動を通じ、権利擁護の意識の醸成を行うとともに、見守りや権利擁護支援が必要な高齢者や障害者が、地域で安心して暮らせるように権利擁護支援員等の人材の養成や養成した人材を活用するための地域での支え合いを推進するシステムづくりを行う。						
事業実績	開催内容	委員会	権利擁護まちづくり講演会	権利擁護支援員養成講座	高齢者虐待防止サードセミナー	高年齢者虐待防止サードセミナー	視察
	回数	8回	11月(虐待) 2月(成年後見)	1月～3月毎週木曜日 全9回	2月3日～17日毎週月曜日 全3回		1回
	人数	10名	39名 51名	12名	22名		12名
総括	今年度も、講演会や養成講座の開催を通して虐待防止や成年後見制度の利用促進などの啓発活動に取り組んだ。一方で、養成した権利擁護支援員が実践活動につなげていないという課題も残った。また、先進的に取り組む芦屋市権利擁護支援センターを視察し大変参考になり、これを生かし、播磨町でも権利擁護センター設立へ向けて取り組んでいく。						
⑫事業名	おもちゃルームさきらの開設		事業開始	H4.8			
事業目的	おもちゃを使っている遊びの楽しさ・おもしろさの中から、子どもの自発性や創造性を育てるとともに、感覚・運動機能の発達を促進し、あわせて、障害児・健常児の別なく、子ども・親・ボランティア等のふれあいの場を提供し、子どもの健全育成を図る。						
事業内容	小学校低学年までの子どもと親を対象に、毎月第1木曜日と第3土曜日の10時から12時の間、福祉会館において開催。運営は、ボランティアグループ「トウインク」による。						
事業実績	開設回数	延利用者数	子ども	保護者	ボランティア		
	本年度	21回	144人	94人	50人	142人	
	前年度	21回	389人	242人	147人	138人	
総括	町内の子育て支援事業が充実してくる中で、利用者数は大幅に減少した。しかし、今年も8月に「親子でピチャピチャ水遊び」を開催したが大好評であった。						

小地域福祉活動

⑬事業名	ふれあい・いきいきサロン事業		事業開始	H13.5
事業目的	ひとりぐらしや虚弱な高齢者が気軽に集えるサロンを開設し、地域住民とのふれあいの中で孤立感の解消、心身機能の向上を図るとともに、地域住民が福祉活動に参加し、住みよい福祉のまちづくりを自らの手で推進する。			
事業内容	自治会を実施主体に、自治会館等、参加者が歩いていける場所を会場に、参加者とボランティアが一緒に内容を決め、共に運営していく楽しい仲間づくりの活動。利用対象は、おおむね65歳以上の高齢者とするが、開催頻度も含め、実施主体ごとに設定していく。			
事業実績	実施数	実施自治会		
	本年度	33自治会	緑ヶ丘自治会・城自治会・二子自治会・新池自治会・宮ノ裏自治会・本荘北自治会・本荘西自治会・宮西自治会・古田東自治会・石ヶ池自治会・本荘東自治会・川端自治会・野添中部自治会・野添中部自治会・駅前自治会・大中西自治会・古田西自治会・宮山自治会・本荘古田南自治会・二子北自治会・古宮第2自治会・古宮第3自治会・駒東自治会・古田西自治会・オリーブハイソ自治会 新野添自治会・鹿の川自治会・野添高山自治会・大中東自治会・本荘西自治会・蓮池自治会・本荘中自治会 会・宮北自治会・サニーハーウス土山自治会・学園北自治会 新規実施自治会：なし	

前年度	34自治会	緑ヶ丘自治会・城自治会・二子自治会・新池自治会・宮ノ裏自治会・本荘北自治会・宮西自治会・宮西自治会・古田東自治会・石ヶ池自治会・本荘東自治会・サンシティ本荘自治会・川端自治会・駅西自治会・野添中部自治会・駅前自治会・大中西自治会・富山自治会・本荘古田南自治会・二子北自治会・古宮第2自治会・古宮第3自治会・駒東自治会・古田西自治会・オリーブハイツ自治会 新野添自治会・鹿の川自治会・野添高山自治会・大中東自治会・本荘西自治会・蓮池自治会・本荘中自治会・宮北自治会・サニーハウス土山自治会・学園北自治会 新規実施自治会：なし																																																																																																																																																																					
総括	10年、100回を超えるサロンが増える中で、新たな利用者および運営者の参加を課題とするサロンが増えてきた。そこで、自治会長および運営責任者を対象とした研修会を開催するなどし、側面的な支援を行った。事業が定着するなかで、『メンバーの一人でも顔が見えないと「体調が悪いのか？」と心配する声が聞かれたり、「電話してあげて」と誘い合ったり、気遣ったりする姿が見られる」というような声も届けられている。																																																																																																																																																																						
生きがい創りの活動																																																																																																																																																																							
⑭事業名	喜寿祝い写真贈呈事業																																																																																																																																																																						
事業目的	老人月間に際し、喜寿を祝い、記念として写真を贈呈する。																																																																																																																																																																						
事業内容	9月1日現在、数えの77歳の方を対象に希望を募り、撮影を行い、写真を贈る。																																																																																																																																																																						
事業実績	贈呈者数	対象者数																																																																																																																																																																					
	本年度 46名	324名																																																																																																																																																																					
前年度	30名	314名																																																																																																																																																																					
総括	該当年に色々な事情で撮影できなかつた方(1～2年前に該当された方)も撮影可能としたことで大変喜んで申し込んで下さる方もあり、今後とも出来る限り続けていくことが出来ればと思う。																																																																																																																																																																						
⑭事業名	★楽々くらし事業の受託																																																																																																																																																																						
事業目的	特定高齢者が要介護状態となることを予防することを通じて、一人一人の生きがいや自己実現のための取り組みを支援し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援することを目的とする。																																																																																																																																																																						
事業内容	特定高齢者に対して、①運動器の機能向上プログラム、②栄養改善プログラム、③口腔機能の向上プログラムをそれぞれ、理学療法士等、管理栄養士等、歯科衛生士等の専門スタッフの指導に基づき実施する。																																																																																																																																																																						
事業実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> <th>前年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>39</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>33</td> <td>42</td> <td>62</td> <td>68</td> <td>63</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>68</td> <td>43</td> <td>53</td> <td>55</td> <td>34</td> <td>587</td> <td>626</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>39</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>20</td> <td>45</td> <td>40</td> <td>39</td> <td>31</td> <td>22</td> <td>18</td> <td>28</td> <td>33</td> <td>35</td> <td>27</td> <td>20</td> <td>358</td> <td>285</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>42</td> <td>84</td> <td>91</td> <td>84</td> <td>64</td> <td>47</td> <td>48</td> <td>92</td> <td>93</td> <td>91</td> <td>91</td> <td>43</td> <td>870</td> <td>896</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>34</td> <td>70</td> <td>69</td> <td>68</td> <td>62</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>58</td> <td>51</td> <td>57</td> <td>52</td> <td>28</td> <td>613</td> <td>653</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>8</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>8</td> <td>158</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>129</td> <td>241</td> <td>262</td> <td>259</td> <td>220</td> <td>134</td> <td>131</td> <td>246</td> <td>220</td> <td>236</td> <td>225</td> <td>125</td> <td>2,428</td> <td>2,460</td> </tr> </tbody> </table>			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	回数	2	4	4	4	4	2	2	4	4	4	3	2	39	39	利用者数	33	42	62	68	63	33	33	68	43	53	55	34	587	626	回数	2	4	4	4	3	2	2	4	4	4	4	2	39	39	利用者数	20	45	40	39	31	22	18	28	33	35	27	20	358	285	回数	2	4	4	4	4	2	2	4	4	4	4	2	40	40	利用者数	42	84	91	84	64	47	48	92	93	91	91	43	870	896	回数	2	4	4	4	4	2	2	4	4	4	4	2	40	40	利用者数	34	70	69	68	62	32	32	58	51	57	52	28	613	653	回数	8	16	16	16	15	8	8	16	16	16	15	8	158	158	利用者数	129	241	262	259	220	134	131	246	220	236	225	125	2,428	2,460
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度																																																																																																																																																									
回数	2	4	4	4	4	2	2	4	4	4	3	2	39	39																																																																																																																																																									
利用者数	33	42	62	68	63	33	33	68	43	53	55	34	587	626																																																																																																																																																									
回数	2	4	4	4	3	2	2	4	4	4	4	2	39	39																																																																																																																																																									
利用者数	20	45	40	39	31	22	18	28	33	35	27	20	358	285																																																																																																																																																									
回数	2	4	4	4	4	2	2	4	4	4	4	2	40	40																																																																																																																																																									
利用者数	42	84	91	84	64	47	48	92	93	91	91	43	870	896																																																																																																																																																									
回数	2	4	4	4	4	2	2	4	4	4	4	2	40	40																																																																																																																																																									
利用者数	34	70	69	68	62	32	32	58	51	57	52	28	613	653																																																																																																																																																									
回数	8	16	16	16	15	8	8	16	16	16	15	8	158	158																																																																																																																																																									
利用者数	129	241	262	259	220	134	131	246	220	236	225	125	2,428	2,460																																																																																																																																																									
総括	介護予防事業として、専門スタッフにより①運動器の機能向上プログラム、②栄養改善プログラム、③口腔機能の向上プログラムおよびレクリエーションを提供している。事業開始時から継続して参加している利用者もおり、一定の効果・役割を果たしていると思われる。介護保険制度が改正されるなか、この事業の役割を再考する時期にも来ている。																																																																																																																																																																						

〔Ⅱ〕 ボランティア活動
(昭和58年9月ボランティアセンター設置)

学習機会の提供

1) 入門講座		教室名	回数	対象者	参加人員	内 容
保 育 体	教 室					
点 訳	ボランティア初級講座	1回	小(高学年)・中・高・大学生	7名	播磨中央保育園において、保育士の指導の下、体験を行った。	
2) 養成講座	点訳ボランティア初級講座	6回	一般	4名	初めての方を対象に、入門にあたる講座内容とした。講師は点訳ボランティアグループ「ほほえみ」に依頼した。	
3) 研修会	手 話 中 級 講 座	5回	会員	15名	いなみ町ろうあ協会等に講師を依頼し、実践と講義を交えた講座を開催した。	

交流・ネットワークの推進事業

1) ボランティア連絡会の支援
幹事会や研修会における助言・活動費の助成による支援

情報の収集・提供・発信事業

1) ボランティア情報の提供
社協だよりでの情報提供 掲載回数: 年10回 全戸配布12,500部/1回

マッチング・支援事業

コーデイネイト事業
ボランティア活動の需給調整
ボランティア災害共済の加入促進

相談活動

1) 活動相談受付事業
相談に対応できるような情報を常に入手して、福祉分野だけでなく、幅広い活動情報を活動希望者に対応した。
町内外からボランティア依頼を受け、依頼を通じて幅広くボランティアニーズを把握することができたが、その反面、ボランティア活動希望者に対し、希望に合致する情報提供ができなかったケースもあり、活動機会の情報を今以上に確保する必要性を感じた。その他、相談記録の徹底をはかることが出来た。

〔Ⅲ〕 一般福祉活動

当事者組織への支援活動

① 事業名	各種団体への助成	
事業目的	各種団体・当事者組織に助成をし、自主的な活動の支援を行う。	
事業内容	各種団体・当事者組織の事業計画に基づく申請により助成する。また、活動の支援を行う。	
	事業開始	—

事業実績	・シニアクラブ連合会・手をつなぐ育成会・はまなす・保護司会・共励会・子ども会育成連絡協議会・すいせんの会					
福祉学習活動						
②事業名	福祉学習指定校の指定	事業開始 S62.4				
事業目的	児童・生徒を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、ボランティア活動への参加を促すことを目的とする。					
事業内容	3年間の県社協の指定校制度を終了した学校に対し、活動を継続できるように助成し、活動の助言等行う。1校につき20,000円/年の助成。					
事業実績	播磨南小学校・蓮池小学校・播磨小学校・播磨西小学校・播磨南高等学校					
啓発・広報活動						
③事業名	社協だよりの発行	事業開始 S44.6				
事業目的	社協の事業・福祉サービス・福祉の動向等の情報を、住民に提供し、地域福祉の向上を図る。					
事業内容	社協だよりの『ゆう&あい』の毎月24日発行					
事業実績	発行回数：12回	発行部数：12,500枚/月				
④事業名	福祉大会の実施	事業開始 H8.6				
事業目的	福祉大会を開催することで、社会福祉協議会や社協事業を周知するとともに、ボランティア活動等への啓発を目的とする。					
事業内容	車いす体験、ガイドヘルプ体験、点訳体験、要約筆記体験、手話体験					
事業実績	第19回福祉大会を第30回健康フェアと同時開催の予定であったが、雨天のため中止となった					
相談所の開設						
⑤事業名	心配ごと相談所の開設	事業開始 S37.1				
事業目的	広く住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言、援助を行って、地域住民の福祉の増進を図る。					
事業内容	毎週火曜日13時から16時の3時間、福祉しあわせセンターにおいて、定期相談員8名により、住民より生活上の相談を受け、助言・援助を行う。					
事業実績	件数	処 理 状 況				
	計	解決	再来	民生委員	他機関	その他
生	2	0	0	0	2	0
職 業 ・ 生	2	0	0	2	0	0
住 宅	8	2	0	1	3	2
家 族	5	3	0	0	2	0
結 婚	1	0	1	0	0	0
離 婚	2	1	0	0	1	0
人 権 ・ 法 律	2	0	0	0	2	0

財産	4	0	1	0	3	0
老人福祉	1	1	0	0	0	0
その他	4	3	0	0	0	1
合計	31	10	2	3	13	3

法律相談所の開設

事業開始 H9.6

事業目的 心配ごと相談の一環として実施し、相談内容が多様化する中、法律的な助言・援助を必要とする相談の問題解決能力を高める。

事業内容 毎月第1火曜日の13時30分から15時30分の2時間、福祉しあわせセンターにおいて、兵庫県弁護士会より弁護士を派遣してもらい相談を実施する。実施にあたっては、心配ごと相談を受けてもらい、問題解決上必要と判断した場合に予約とする。

事業実績 実施回数： 12 回 相談件数： 11 件

資金の貸付

生活福祉資金の貸付

事業開始 S34.4

事業目的 低所得・高齢者・障害者世帯に対し、必要に応じた資金貸付を行うとともに、民生委員を通じ必要な援助指導を行うことによって、その世帯の経済的自立と生活意欲の助長促進、加えて在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるようにする。

事業内容 対象：低所得世帯・高齢者世帯・障害者世帯
資金の種類：①福祉資金 ②教育支援資金 ③総合支援資金 ④臨時特例つなぎ資金 ⑤不動産担保型生活資金

種類	件数	貸付額	備考
教育支援資金	1	410,000	
福祉資金	1	70,000	
総合支援資金	6	1,592,505	
合計	8	2,072,505	

特別支援資金の貸付

事業開始 S35.9

事業目的 生活保護法にいう被保護者、要保護者の世帯または低所得者層と思われる世帯が、生活上または医療上等で緊急な支出を必要とする時のつなぎ資金として貸付ける。

事業内容 対象：生活保護法にいう被保護者、要保護者の世帯または低所得者層と思われる世帯 貸付限度額：50,000円 償還期間：12ヶ月以内

事業実績 貸付件数： 7 件 貸付総額： 187,500 円

募金活動

社協会費

事業開始 S58.6

事業目的 社協会員制を敷き、趣旨に賛同する会員を募集し、その会費を自主財源として事業を推進する。

事業内容 普通会費1戸500円 特別会費5,000円 とし、7月に実施。

事業実績	会員数	金額 (円)							
	普通会費	4,011,100 円							
	特別会費	730,000 円							
	合計	4,741,100 円							
⑪事業名	共同募金								
事業目的	住民相互のたすけあいを基調とし、誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができ、住民自らが主体的に参加する福祉コミュニティづくりへの参加を促し、実現するための多様な活動を財政面から支援する。								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県共同募金会 播磨町共同募金委員会の実施する赤い羽根共同募金運動への協力。 ・配分金を、地域福祉推進のために有効に活用する。 								
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度実施した共同募金の地域実績の98% 3,553,000円が、地区福祉事業配分金として配分された。これは、会費同様、社協の自主財源であり、在宅福祉サービスの実施に活用した。 								
⑫事業名	平成25年度共同募金運動の状況								
	目標額	<table border="1"> <tr> <td>広域目標額</td> <td>579,000 円</td> </tr> <tr> <td>(民間福祉施設・福祉団体への配分)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域目標額</td> <td>3,141,000 円</td> </tr> <tr> <td>(地区福祉事業配分金として社協へ)</td> <td></td> </tr> </table>	広域目標額	579,000 円	(民間福祉施設・福祉団体への配分)		地域目標額	3,141,000 円	(地区福祉事業配分金として社協へ)
広域目標額	579,000 円								
(民間福祉施設・福祉団体への配分)									
地域目標額	3,141,000 円								
(地区福祉事業配分金として社協へ)									
事業目的	新たな年を迎える時期に、援助や支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得て、福祉活動を展開する。								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県共同募金会播磨町募金委員会とともに推進。 ・自治会や職域に募金の募集を行い、配分委員会で審議の後、民生委員を通じて対象世帯にお見舞金を届ける。 								
事業実績	1. 募金実績								
	区分	件数							
自治会	8,951 戸	1,339,900 円							
職域	4 職域	76,189 円							
団体・グループ	2 件	147,000 円							
個人	1 名	2,000 円							
合計 (A)		1,565,089 円							
2. 配分実績									
配分区分	配分額								
要援護世帯	439,000 円								
手をつなぐ育成会	60,000 円								

実績額	3,536,150 円
(内訳)	
戸別募金	9,018 戸
法人募金	345 社
個人募金	12 人
学校募金	7 校
職域募金	9 職域
利息等	170 円

事業開始 S26.12

は	ま	な	す	30,000 円
助	成		金	884,720 円
	合	計 (B)		1,413,720 円
⑬事業名	善意銀行			事業開始 S38.8
事業目的	地域住民の善意を発掘し、その高揚を図るとともに、善意による預託を受け、これを地域社会へ効果的に還元し、もって社会福祉の増進に寄与する。			
事業内容	・金銭による預託を受け入れる。 ・預託された金銭により、老人福祉・児童福祉・低所得者世帯福祉・地域福祉活動等に払出を行なう。			
事業実績	2. 払 出			
	預託項目	件数	預託金額	払出金額
	福祉のために			
	個人	12	49,000 円	174,000 円
	団体	7	143,389 円	0 円
	供養	0	0 円	90,000 円
	預金利息等		1,250 円	36,594 円
	合 計	19	193,639 円	0 円
			合 計	300,594 円

〔IV〕地域包括支援センター

事業名	地域包括支援センター												事業開始	H18.4
事業目的	地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、地域包括ケアを実現する													
事業内容	I. 包括的支援事業①介護予防ケアマネジメント ②総合相談・支援 ③権利擁護 ④包括的・継続的ケアマネジメント支援 II. 介護予防支援業務													
事業実績	1. 相談件数													
内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
相 談 実 件 数	34	32	40	49	39	76	70	52	36	30	30	35	523	428
相 談 延 件 数	41	41	70	75	51	106	96	78	54	52	40	46	750	571
介護に関する相談														56
医療に関する相談														12
健康に関する相談														33
福祉サービス利用に関する相談														0
成年後見制度利用に関する相談														3
介護保険に関する相談														6
虐待に関する相談														1
認知症高齢者の介護・医療に関する相談														11

介護に関する相談	4	4	10	7	6	11	15	3	3	9	13	4	89	57
健康・医療に関する相談	9	6	13	10	4	18	13	14	11	13	10	10	131	58
介護保険・福祉サービス全般に関する相談	32	27	31	37	34	59	57	53	35	31	19	24	439	184
生活相談(経済・生活保護等)に関する相談	5	5	3	2	2	3	3	6	5	1	4	10	49	10
生活相談(人間関係等困難事例)に関する相談	1	1	3	3	0	2	2	5	5	0	4	11	37	6
高齢者虐待に関する相談	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	6
認知症に関する相談	4	1	5	10	2	12	14	3	2	6	3	1	63	37
消費者被害に関する相談	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
成年後見に関する相談	2	1	1	1	0	2	3	1	0	0	0	0	11	13
その他の	0	4	18	15	8	22	18	12	6	5	8	7	123	19
計	58	50	84	85	56	129	125	97	67	65	61	69	946	512
2. 介護予防ケアプラン作成実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
	258	250	258	271	270	275	277	277	281	289	296	303	3,305	3,110

3. ケアマネジャー支援 地域ネットワーク会議 1回/月 (12回) 参加者数 237名

○支援困難事例助言 10件

○プラン作成技術指導 0件

○その他 6件

○支援困難事例同行訪問 11件

○サービス担当者会議 7件

4. 啓発活動 健康福祉フェア 雨天中止 シニア元気アップ出前講座 24回(551名) 認知症サポーター養成講座 15回(187名)
介護支援ボランティア養成講座 3回(34名)

平成26年度においても、相談案件数は増え523件(前年度比122%増)となった。介護予防ケアプラン作成数は3,305件(前年度比106%増)となり、例年どおりの増加であった。この介護予防ケアプラン作成は、今年度は委託先事業所が増えたことでプラン作成の対応ができた。
今年度は認知症関連事業において新たな取り組みを行い成果をあげることができた。一つは、「脳のチェックリスト」を健診時等に住民に呼びかけ実施することで、認知症の早期発見や受診勧奨に努め、認知症予防や啓発を行うことができた。二つには、「東播認知症教室」を開催し、認知症の方やその家族に対する認知症の理解を深めることができた。三つ目には、例年実施している認知症サポーター養成講座における新規対象者として、小学生・中学生・高校生といった若い方に講座を開講し、認知症に対する理解を求めることができた。
前年度から継続実施している介護支援ボランティア養成においては、講座終了者で「つどいカフェ」や「いきいき百歳体操」に取り組み、新しい総合事業実施に向けて住民主体の集いの場づくりのきっかけとすることができた。
一方で、地域ケア会議の勉強会を開催したが、地域ケア会議の勉強会を開催したことが、地域ケア会議の勉強会を開催したことができなかった。課題を残すこととなった。

[V] ゆうあい園運営事業

事業名	ゆうあい園運営事業	事業開始	S58.5
事業目的	利用者に対し、通所による就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識・能力が高まった利用者には、一般就労等への移行に向けて支援する。		
方針	関係市町、地域の保健・医療・福祉サービス機関と連携を図り、適正かつきめの細かな就労継続支援(B型)のサービスを提供する。		

園 生	定員20人	職員体制	管理者・サービス管理責任者(常勤1名) 生活支援員2名(内、常勤1名・非常勤1名)、職業指導員3名(内、常勤2名・非常勤1名)												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業実績	開館日数	21	20	21	22	18	20	22	19	19	19	19	22	241	241
	登録人員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	—	—
	延利用人員	401	373	396	412	321	325	372	297	318	329	328	393	4,265	4,528
	1日平均利用人員	19.1	18.7	18.9	18.7	17.8	16.3	16.9	16.5	16.7	17.3	17.3	17.9	17.7	18.8
	稼働率	95.5	93.3	94.3	93.6	89.2	81.3	84.5	82.5	83.7	86.6	86.3	89.3	88.5	93.9
事業実績	1. 作業指導	内容：電気部品関連、アイスクリームのスプーン結束、クリーニング、コープ実習、農作業、資源回収、紙漉き関連、公園清掃 公用車洗車、ディサービス入浴タオル洗濯、チャレンジショップ出店、文具包装、パチンコ台解体等 ＊リナーダーが中心となって、すすめられる作業ができた→コープ実習、公園清掃 ＊新規の業者を開拓して、作業種を増やした→文具包装、パチンコ台解体													
総 括	2. 生活訓練	内容：調理実習・歯磨き指導など身辺自立に向けた指導													
	3. 余暇活動	内容：クラブ活動(生け花・運動)・和太鼓・創作活動・将棋等のゲーム													
	4. 機能訓練	内容：レクリエーションを通じての機能回復訓練(理学療法・作業療法)(10回/年のべ175人利用)													
	5. 訪問歯科指導	内容：歯科衛生士による口腔内衛生指導(3回/年)7月・12月・3月													
	6. ボランティアによる支援	内容：資源回収への協力・太鼓指導・農園への協力・園外行事付添(のべ約550人)													
	7. 避難訓練	内容：3回/年 通報・避難誘導・消火 ＊7月(ゆうあいプラザ合同訓練)・1月・3月													
	・社会情勢の変化により、長年携わってきた内職作業がなくなり、利用者の適性に見合った作業の入手が難しくなっている。新規業者を開拓して新しい作業を受けたが、それにも関われない人には、より簡易な作業の開拓が必要となっている。														
・長期欠席者が2名出たことで8月から稼働率が低下した。心身両面の健康を保ち、安定した生活を送れるように、家庭や関係機関と連携しながら支援に努めた。															
・利用者本人、家族のニーズを把握して個別支援計画を立案したり、見直したりする過程で、「対話」が足りていなかった点を反省とし今後改めていくよう努める。															
・太鼓を得意とするグループ(6名)を結成して練習を重ね、県民局でのイベントにおいて演奏を披露するなど、余暇の充実を図ることができた。															

[VI] 介護保険事業

ホームヘルプサービスーション														
①事業名	介護保険事業(兵庫県指定事業所番号 28728000079)												事業開始	H12.4
事業方針	サービスの質を確保しながら効率の良い供給体制を確立し、利用者側に立って運営することを基本方針とし、職員の資質向上を目指し、要介護状態または要支援状態にある高齢者に対し、適正な訪問介護を提供する。													
職員体制	訪問介護員(常勤)：4名(内2名常勤パート) 訪問介護員(非常勤)：11名													
事業実績	1. 要介護度別利用者数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
要支援Ⅰ	19	18	18	19	19	19	16	15	14	14	14	16	201	208
要支援Ⅱ	16	16	17	16	16	13	20	20	20	20	21	21	216	218

要介護Ⅰ	9	9	10	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	134	87
要介護Ⅱ	5	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	53	93
要介護Ⅲ	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	27	41
要介護Ⅳ	5	6	6	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	58	54
要介護Ⅴ	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22	19
合計	58	60	60	61	61	59	60	60	60	61	59	57	57	59	62	711	711	720	
前月との比較増減		2	0	1	0	-2	1	-3	0	0	2	0	0	2	3				
2. 訪問介護事業実績																			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度					
身体介護	42:00	51:30	60:00	78:30	44:00	35:30	30:00	35:00	32:00	37:00	40:00	32:00	517:30	746:00					
身体生活	136:40	143:15	166:00	160:00	62:00	46:00	56:30	57:00	113:30	75:00	47:30	69:00	1132:25	1228:15					
生活援助	321:45	331:30	308:25	327:45	283:15	271:45	280:45	273:40	254:15	269:00	271:45	305:30	3499:20	4482:45					
合計	500:25	526:15	534:25	566:15	389:15	353:15	367:15	365:40	399:45	381:00	359:15	406:30	5149:15	6457:00					
3. 予防訪問介護事業実績																			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度					
週1回	15	15	15	15	14	14	15	13	11	11	13	15	166	169					
週2回	16	16	17	18	19	18	18	18	18	18	17	17	210	204					
週3回	4	3	3	3	3	3	3	4	4	4	5	4	43	55					
合計	35	34	35	36	36	35	36	35	33	33	35	36	419	428					
総括	人材の確保が困難で新規の利用者の受け入れが出来ない。重度利用者の入所・死亡・入院により件数が減となる。職員の採用・研修によりヘルパーの質の向上をはかり、新たな利用者の受け入れを行っていく。																		
②事業名	高齢者生活支援型ホームヘルプサービス事業実績												事業開始	H12.4					
事業目的	身体が虚弱な高齢者など身体上または精神上軽度の障害があつて日常生活を営むのに支障がある者がホームヘルパーの派遣を必要とする場合、その費用の一部を助成することにより、高齢者が健全で自立した安らかな生活が営むことができるよう援助する。																		
事業内容	対象者：町内に在住する者で、介護保険対象外であるが、日常生活上援助が必要と認められるおおよね65歳以上の要介護高齢者がいる家庭。 内 容：①身体介護に関する事 ②家事に関する事 ③相談・助言に関する事																		
事業実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度					
利用者数	3	3	3	3	3	3	3	4	3	2	2	2	34	33					
身体介護	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00					
生活援助	13:00	10:00	11:00	15:00	12:00	11:00	12:00	15:00	9:00	6:00	8:00	7:00	129:00	127:00					
合計	13:00	10:00	11:00	15:00	12:00	11:00	12:00	15:00	9:00	6:00	8:00	7:00	129:00	127:00					
③事業名	障害者自立支援法事業												事業開始	H15.4					
事業目的	重度の心身障害のため日常生活を営むことに著しく支障がある身体障害者および知的障害者の家庭等にホームヘルパーを派遣し、入浴等の介護及び家事等の日常生活を営むのに必要な便宜を供与することにより、心身障害者の自立と社会参加を促進し、福祉の増進を図る。																		
事業内容	対象者：心身障害者の属する家庭で、心身障害者またはその家族が介護サービス等を必要とする場合で、介護保険法に基づき給付対象者は除く。 内 容：①身体介護に関する事 ②家事に関する事 ③相談・助言に関する事																		
事業実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度					
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	2	9	0					

知的障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
精神障害者	3	3	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	50
生活サポート事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
サービス提供時間																				
身体介護	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	16:00	21:15	18:00	21:00	24:30	25:00	25:00	125:45	141:00		
生活援助	20:30	18:30	15:00	15:00	14:00	27:00	31:00	32:00	26:00	29:00	29:00	29:00	29:00	32:00	23:00	23:00	283:00	346:55		
合計	20:30	18:30	15:00	15:00	14:00	27:00	47:00	58:15	44:00	50:00	56:30	48:00	408:45	487:55						

<p align="center">播磨町デイサービスセンター</p>																																																																																																
⑤事業名	介護保険事業(兵庫県指定事業所番号 28728000168)	事業開始	H12.4																																																																																													
事業方針	サービスの質を確保しながら効率の良い供給体制を確立し、利用者の人格を尊重しつつ、目配り・気配り・心配りを忘れず、常に利用者側に立って事業運営することを基本とする。職員の介護技術の向上を目指し、要支援状態または要介護状態と認定され利用する高齢者に対し、適正な通所介護を提供し、利用者が安全で安心して自分らしさを発揮できるよう、家族にも安心してもらえるよう事業に取り組み。																																																																																															
職員体制	施設長： 1名 生活相談員： 2名 看護職員(常勤)： 1名 介護職員(常勤)： 6名 看護職員(非常勤)： 1名 介護職員(非常勤)： 9名																																																																																															
事業実績	<table border="1"> <tr> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> <td>1月</td> <td>2月</td> <td>3月</td> <td>合計</td> <td>前年度</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>27</td> <td>25</td> <td>27</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>307</td> <td>308</td> </tr> <tr> <td>73</td> <td>75</td> <td>76</td> <td>71</td> <td>73</td> <td>78</td> <td>77</td> <td>74</td> <td>74</td> <td>73</td> <td>74</td> <td>76</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>604</td> <td>650</td> <td>631</td> <td>687</td> <td>673</td> <td>654</td> <td>703</td> <td>617</td> <td>625</td> <td>605</td> <td>609</td> <td>679</td> <td>7,737</td> <td>7,854</td> </tr> <tr> <td>23.2</td> <td>24.1</td> <td>25.2</td> <td>25.4</td> <td>25.9</td> <td>25.2</td> <td>26.0</td> <td>24.7</td> <td>26.0</td> <td>25.2</td> <td>25.4</td> <td>26.1</td> <td>25.2</td> <td>25.5</td> </tr> <tr> <td>64.5</td> <td>66.9</td> <td>70.1</td> <td>70.7</td> <td>71.9</td> <td>69.9</td> <td>72.3</td> <td>68.6</td> <td>72.3</td> <td>70.0</td> <td>70.5</td> <td>72.5</td> <td>70.0</td> <td>70.8</td> </tr> </table>												4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	26	27	25	27	26	26	27	25	24	24	24	26	307	308	73	75	76	71	73	78	77	74	74	73	74	76	—	—	604	650	631	687	673	654	703	617	625	605	609	679	7,737	7,854	23.2	24.1	25.2	25.4	25.9	25.2	26.0	24.7	26.0	25.2	25.4	26.1	25.2	25.5	64.5	66.9	70.1	70.7	71.9	69.9	72.3	68.6	72.3	70.0	70.5	72.5	70.0	70.8
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度																																																																																			
26	27	25	27	26	26	27	25	24	24	24	26	307	308																																																																																			
73	75	76	71	73	78	77	74	74	73	74	76	—	—																																																																																			
604	650	631	687	673	654	703	617	625	605	609	679	7,737	7,854																																																																																			
23.2	24.1	25.2	25.4	25.9	25.2	26.0	24.7	26.0	25.2	25.4	26.1	25.2	25.5																																																																																			
64.5	66.9	70.1	70.7	71.9	69.9	72.3	68.6	72.3	70.0	70.5	72.5	70.0	70.8																																																																																			
総括	<p>ケアプランに即して、通所としてのニーズ把握を行い、個別性を大切にしながらサービス提供を実施して、一人ひとりの利用者さんがその人らしく過ごすことへの配慮と支援に努めてきた。導入を始めたいきいき100歳体操については、定期的に参加する方は熱心に取り組み、体力・筋力保持に一定の効果をもたらしたものと捉えている。只、その効果については、評価表を作り「見える化」出来ておらず、次年度への取り組みの目標とする。デジタルカメラでの活動記録の保存は、居宅介護支援事業所への施設紹介空き状況の告知の際に有効であると共に1年の振り返りの中で利用者にも楽しんで頂けたと考える。認知症の方も多くなり、専門的ケアの充実を図ることが求められ、そのための研修実施をしたい。</p>																																																																																															
⑥事業名	障害者デイサービス事業												事業開始	H15.4																																																																																		
事業目的	在宅の身体障害者の自立の促進、生活の改善、身体の機能維持向上等を図ることができるよう、通所により創作的活動、機能訓練等の各種のサービスを提供する事により、身体障害者の自立と社会参加を促進し、福祉の向上を図る。																																																																																															
事業内容	対象者：町内に在住する18歳以上の身体障害者																																																																																															
事業実績	<table border="1"> <tr> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> <td>1月</td> <td>2月</td> <td>3月</td> <td>合計</td> <td>前年度</td> </tr> <tr> <td>65</td> <td>67</td> <td>57</td> <td>64</td> <td>63</td> <td>61</td> <td>61</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>58</td> <td>62</td> <td>68</td> <td>734</td> <td>608</td> </tr> </table>												4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	65	67	57	64	63	61	61	54	54	58	62	68	734	608	事業開始	H12.4																																																						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度																																																																																			
65	67	57	64	63	61	61	54	54	58	62	68	734	608																																																																																			
⑦事業名	身体障害者短期入所事業																																																																																															
事業目的	重度身体障害者の介護を行う者の疾病その他の理由等により、障害者が居宅において介護を受けることができず、一時的な保護を必要とする場合に、一時的に身体障害者更生支援施設等に保護し、居宅の障害者およびその家族の福祉の向上を図る。																																																																																															
事業内容	対象者：町内に在住する在宅の障害者																																																																																															

事業実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
延利用人員	20	23	20	23	20	27	18	20	16	19	24	20	250	211

居宅介護支援事業所

⑧事業名	介護保険事業(兵庫県指定事業所番号2872000079)												事業開始	H12.4
事業方針	要介護者等からの相談に応じ、要介護者等がその心身の状況や置かれていた環境等に応じて、本人や家族の意向等をもとに、居宅サービスまたは施設サービスを活用できるように、サービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービスの提供が確保される居宅サービス事業者、介護保健施設等との連絡調整その他の便宜の提供を行う。													
職員体制	介護支援専門員(ケアマネージャー) 専従: 4名												兼務: 0名	
事業実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
支援I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
支援II	3	2	3	4	4	4	3	3	3	3	6	8	46	68
要介護I	37	38	40	40	36	38	42	47	48	48	48	50	512	489
要介護II	30	31	32	32	32	34	31	31	30	29	29	30	371	439
要介護III	26	28	27	25	23	18	18	18	20	22	23	25	273	296
要介護IV	19	20	19	21	21	23	20	19	18	17	17	16	230	206
要介護V	11	10	8	11	9	9	7	7	7	7	7	9	102	124
合計	126	129	129	133	125	126	121	125	126	126	130	138	1,534	1,629
前月との比較増減		3	0	4	-8	1	-5	4	1	0	4	8		

計画作成件数は、特養入所・死亡等により一時的に低くなった時期はあったが、新規利用申し込みは年間通し多くなっており、件数は徐々に増えている。昨年同様に、病院・役場・他居宅からの困難事例相談・依頼はあり、加えて、契約をしても精神疾患や介護抵抗等によりサービス利用に繋がっていないケースへの継続的な支援も必要であるため、件数以外でもケアマネの多忙な状況はある。様々な相談を受け、対応できる力を高めるためにも、今後も、これまで同様に、情報交換・情報共有・ケースの振り返りの時間を持つことで、自己覚知への意識付けを継続していく。その他、訪問調査の委託を受けた(播磨町より3件・明石市より1件)

〔VII〕組織

①事業名	理 事 会													
構成	自治会代表	1名	・	民協代表	1名	・	婦人会代表	1名	・	有識者	9名	合計	12名	
開催状況	開催日	出席者数	議 題											
第1回	平成26年4月18日(金)	10	1)委員会委員の選任について 2)平成25年度年末年始地域支えあい事業 助成報告について											
第2回	平成26年5月19日(月)	11	1)平成25年度事業報告について 2)平成25年度決算報告(案)および監査報告について 3)評議員の選任について											
第3回	平成26年6月20日(金)	10	1)災害対策としての社協の備えについて 2)評議員の選任について											
第4回	平成26年7月18日(金)	11	1)生活困窮者自立促進支援モデル事業について											

第5回	平成26年8月22日(金)	11	1)平成26年度赤い羽根共同募金運動について 2)職員用駐車場の確保について	
第6回	平成26年9月19日(金)	11	1)平成26年度社会福祉協議会会費 最終報告について	
第7回	平成26年10月17日(金)	11	1)年末年始地域支えあい事業(案)について	
第8回	平成26年11月21日(金)	11	1)平成26年度第1次補正予算(案)について 2)歳末お見舞金について	
第9回	平成26年12月19日(金)	11	1)第4次地域福祉推進計画の取り組みについて 2)平成26年度共同募金運動の最終報告について	
第10回	平成27年1月16日(金)	10	1)経理規則(案)について 2)資金運用規則(案)について	
第11回	平成27年2月20日(金)	11	1)平成26年度歳末たすけあい運動について 2)土地取得に関する諸費用の負担について	
第12回	平成27年3月20日(金)	10	1)平成27年度事業計画(案)について 2)平成27年度予算(案)について	
評 議 員 会				
②事業名	自治会 6名・民生委員 6名・婦人連合会 1名・子連協 1名・シニアクラブ連合会 1名・更生保護女性会 1名・保護司会 1名・教育委員会 1名・手をつなぐ育成会 1名・有識者 5名・ボランティア 5名・施設 1名 合計 30名			
開催状況	開催日	出席者数	議 題	
	第1回	26名	1.平成25年度事業報告について 2.平成25年度決算(案)および監査報告について 3.理事・監事の選任について	
	第2回	24名	1.平成26年度第1次補正予算(案)について 2.理事の選任について	
	第3回	26名	1)平成27年度事業計画(案)について 2)平成27年度予算(案)について 3)定款の変更について	
③事業名	各 種 委 員 会			
開催状況	委員会名	委員数	開催回数	主な審議事項
	総務委員会	5	0	
	地域福祉委員会	6	0	
	善意銀行運営委員会	7	0	
	ホランティアセンター運営委員会	8	4	福祉大会・ボランティアの集い等の事業計画について
	特別援護資金貸付審議委員会	5	0	

〔Ⅷ〕 第4次地域福祉推進計画

重点目標その1 自治会エリアで見守り・支えあいの仕組み作りを目指す	
活動目標 1 民生委員児童委員協議会ならびにコミュニティセンター区ごとの自治会長会と懇談会を開催	
① 民生委員児童委員協議会との懇談会、計画の説明会を開催	
総括	7月、民協定例会の場で4次計画及び、福祉連絡会（仮称）設置に向けた具体的な手法として「支え合いマップづくり」について説明を行った。
② コミュニティセンター区ごとの自治会長会の場を借りて懇談会、計画の説明会を開催	
総括	各自治会に向け説明会の案内を行ったことから、実施していない。
活動目標 2 各自治会と懇談会を実施し、福祉連絡会（仮称）の組織化をはたらきかける	
① 各自治会エリアで懇談会を開催し、地域での見守り・支えあい活動の必要性について理解を広げる	
総括	各自治会（46自治会）に文書で説明会の開催を依頼し、12自治会から回答が得られた。そのうち川端自治会（3年連続）のみ開催を希望する旨返答があり、11月に開催した。社協、地域包括支援センター、4次計画及びマップづくりに関する説明を行い、概ね理解と賛同をいただいた。また、会長をはじめ役員の方より、年度初めに新班長を対象に説明会開催の希望があった。併せて、マップづくりについて前向きな意見をいただいた。その他、以下の自治会等から「マップづくり」に関する意見をいただいた。 ・鹿の川、本庄西、本庄東、その他民生委員等
② モデル自治会を依頼し、一緒に福祉連絡会（仮称）を立ち上げ、活動支援を行う	
総括	依頼まで至らなかった。
活動目標 3 コミュニティセンター区ごとに福祉ネットワーク会議（仮称）の設置をはたらきかける。	
① 福祉ネットワーク会議（仮称）の設置をはたらきかける。	
総括	準備を始める予定であったが、各自治会における福祉連絡会の立ち上げが進んでおらず、実施に至っていない。
② モデルのコミュニティセンター区で、福祉ネットワーク会議（仮称）の設置を支援します。	
総括	「①」同様、準備を始める予定であったが実施に至っていない。
活動目標 4 行政や民生委員児童委員協議会等の関係機関・団体との連携、協働をすすめる	
① 行政や関係機関・団体へ調査の結果や計画の説明を行い、周知・理解促進を図る	

総括	民協担当職員に「マップづくり」に関するご意見を伺った。
②福祉連絡会の設置に向けて、研修会の実施等、必要に応じて行政・関係機関と協働して取り組む	
総括	「マップづくりセミナー」と題し、マップづくりの手法を発案された住民福祉総合研究所所長の木原孝久氏を迎え、講演及び模擬演習を行った。シニアクラブやいきいきサロン関係者、自治会役員や民生委員、役場職員など、約170名に参加いただいた。実施後のアンケートから、この手法に興味関心を示す多くの回答が得られた。
重点目標その2 地域での見守り・支えあい活動を支援できる社会福祉協議会を目指す	
活動目標1 社協事業・組織検討委員会（仮称）を設置し、事業・組織体制を見直し	
①社協事業・組織検討委員会（仮称）を設置し、社協事業・組織体制を見直し	
総括	各部署からの代表者で構成する社協事業組織検討委員会を設置し、月1回開催した。年度初めに、「支え合いのしくみづくり」に関する具体的な手法を考えるため、全職員から希望者を募り、4名でプロジェクトチームを構成した。チームの取り組み状況を受け、協議を行った結果、「支え合いマップづくり」を軸に地域へ提案していくこととした。その他、くらしサポート事業の見直しを行った。
②事業・組織の見直しにより、事務局に地域福祉担当制を設ける	
総括	事務局職員2名が他業務と兼務で担当だったが、全体の体制見直しには至っていない。
③播磨町社協の強みでもある、介護・在宅福祉サービスの専門性や職員の力を地域の福祉活動につなぐ	
総括	プロジェクトチームとして、介護の専門職員や事務局職員が協力して地域に働きかけ、意見を伺う機会の設定や「模擬マップづくり」を実施した。継続的な福祉活動を構築するまでには至らなかったが、地域の方とのつながりをつくることできた。
④事務局職員と介護・福祉サービス専門職とが、総合的に地域福祉活動を支援	
総括	各部署から代表者が出席する社協事業組織検討委員会を月1回開催すると共に、プロジェクトチームにも複数の部署の職員が関わり、住民の皆さんからご意見を伺う機会をもった。
活動目標2 地域の福祉活動を推進・支援する職員（コミュニティワーカー）を育成	
①職員の研修計画を作成し、職場内研修や外部研修を通してコミュニティワーカーとしての感性や技術向上に努める	
総括	内部研修の実施と共に外部研修を活用し、各々が担う専門性を高めることに努めた。
②社協の全職員が地域福祉の視点を持ち、それぞれの専門性を活かして、何らかのかたちで、地域福祉活動に携わる機会を設ける	
総括	住民を対象とした「マップづくりセミナー」において、住民の皆さんと共に学習しグループ演習にも取り組んだ。